

# 戦評用紙

## 平成23年度 第43回全国高等学校選抜ホッケー大会

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
15	男子決勝	H 24	3	28	11 : 20	岐阜県グリーンスタジアム Aフィールド	人工芝

チーム名

伊吹高等学校

(滋賀県)

PS戦	—
延長	—
試合	3 — 2
(前半)	2 — 0

チーム名

山梨学院大学附属高等学校

(山梨県)

先発	No.	氏名	G	Y	R
	1	戸田 翼			
	2	井関 佑馬			
✓	3	上田 信志			
	4	大橋 勇介			
✓	5	瀬川 太亮			
✓	6	瀬川 智啓			
✓	7	山田 翔太			
✓	⑧	山水 翼瑛			
✓	9	瀬川 裕誠			
22	10	瀧上 知彦			
✓	11	大橋 洵			
✓	12	和田 友道	25		
✓	13	植村 彰斗			
✓	14	宮口 和樹			
✓	15	吉川 貴史			

先発	No.	氏名	G	Y	R
✓	1	小山 大貴			
✓	2	古林 一平			
✓	3	内田 明良			
✓	4	向山 太貴			
✓	5	伊藤 義一			
✓	6	内藤 正樹	13	69	
	7	元井 順也			
✓	⑧	石川 隆			
✓	9	吹田 孝輔			
✓	10	中澤 壮汰			
✓	11	井上 悦希			
51	12	志村 直毅			
✓	13	野村 陵			
	14	諏訪 雄也			
	15	輿水 祐輝			

監督 北川 幸生

アンパイア 竹内 高広

ジャッジ 境山 博之

T. O. 草野 妥彦

監督 寺本 祐治

アンパイア 松原 久

リザーブアンパイア 久保木 学

特記事項

### 【戦評】

伊吹のセンターパスのより男子の決勝が開始された。伊吹は正確なパス回しと、スピードのあるドリブルで相手陣内に攻め入りシュートを狙う。山梨も何度も攻撃を仕掛けるが、伊吹の力強い守備を破ることができない。伊吹は18分PCを取得。#8山水はドラックでゴール右下に決め、先制点を挙げる。さらに、30分#14宮口がサークル内でパスを受け、それをダイレクトで決め2点目を挙げた。そのまま2-0で前半戦を折り返した。

後半戦が開始され、追いつきたい山梨は開始直後から猛攻を仕掛ける。#5伊藤がスピードのあるドリブルで相手DF陣を抜き切り、周りこみから#8石川にパスを出す。それを確実に決め、2-1とする。山梨は焦りが見えてきた伊吹のミスを狙い、#4向山が速攻でサークルに入る。フリーで走り込んだ#8石川にパスを出すも、前に出た相手GKをかわし、#4向山が無人のゴールを決め、同点に追いつく。その後、一進一退の攻防が続く。両者とも体を張った守備や攻撃で一步も譲らない。お互いにシュートチャンスはあるものの決めきることができない。伊吹はPC取得。試合終了のフオンが鳴り、ラストプレーとなる。山梨は堅い守備を見せ、連続してPCを守るも、70分#8山水が放ったドラックを#5瀬川が華麗なタッチシュートで決め、試合は終了。3-2で伊吹は6年ぶり3回目の優勝を飾った。

# 戦 評 用 紙

## 平成23年度 第43回全国高等学校選抜ホッケー大会

試合番号	備考	年	月	日	時間	場所	ピッチ
15	女子決勝	H 24	3	28	9 : 30	岐阜県グリーンスタジアム Aフィールド	人工芝

チーム名

天理高等学校

(奈良県)

PS戦

延長 1 - 2

試合 1 - 1

(前半 0 - 1)

チーム名

羽衣学園高等学校

(大阪府)

先発	No.	氏 名	G	Y	R
✓	1	中村 瑛香			
✓	②	長榮 恵美			
✓	3	藤富 萌子	71		
✓	4	齋藤明日香			
✓	5	江村 佳歩			
✓	6	乾 志帆			
✓	7	松島 育美			
✓	8	柳本 やえ			
✓	9	藤富 文音			
✓	10	田中ゆきの			
6	11	武田 和紗			
✓	12	川原 愛菜			
	13	中田 早紀			
	14				
67	15	松島 朋美			

先発	No.	氏 名	G	Y	R
✓	1	山口 知恵			
✓	2	春田 真希			
✓	3	山田 由喜			
✓	4	正岡 奈央			
✓	5	浅井 悠由			
✓	6	津田あすか			
✓	7	植村 衣吹			
✓	8	春日 桃花			
✓	9	河村 元美			
✓	⑩	西村 文伽			
✓	11	塩入谷雪乃			
30	12	元吉 麻悠			
	13	森 円花			
	14	岡迫 菜絵			
1	15	玉井 紀子			

監督 森本 さかえ

アンパイア 相馬 知恵子

ジャッジ 野澤 光代

T. O. 草野 妥彦

監督 長谷部 謙二

アンパイア 我妻 順子

リザーブアンパイア 久保木 学

特記事項

### 【戦評】

天理のセンターパスにより、女子の決勝戦が開始された。天理は冷静にパスをつなぎ相手陣地に攻め入るも、羽衣の堅い守備を破ることができない。羽衣はボールを前に進めることができず、相手サークルまで攻め入ることができない。少ないチャンスの中で、29分PCを取得。GKがはじいたボールを#10西村がすかさず押し込み先制点を挙げる。0-1のまま前半戦を折り返した。

後半戦が開始され、1点を返したい天理はさらに激しい攻撃をしかける。天理は混戦したサークル内で、#8柳本が強引にリバースシュートを放つ。一度は相手GKに阻止されたが、38分#12川原がリバウンドを押し込み同点とする。追加点をねらい、両者ゆずらない攻防が続く。天理はセンタリングから得点チャンスを得るが、羽衣のGK #1 山口の好セーブにより決めることができない。羽衣も体を張ったプレーで得点を狙うも決める事ができない。試合終了間際の69分、天理はPCを取得。これも羽衣の堅い守備によりシュートを打つことができなかった。1-1のまま、勝敗は延長戦へともつれ込んだ。

延長戦が開始され、両チーム勢いづいた激しいボールも奪い合いから攻撃をしかける。しかし、シュートチャンスもないまま後半戦へと入った。羽衣は相手サークル内へボールを集め、81分PCを取得。#11塩入谷がゴール右上ヘドラックを放ち得点する。これがVゴールとなり、1-2で羽衣が7年ぶり3回目の優勝を飾った。